

事務事業評価(平成26年度に実施した事務事業)

共通番号	部	所属名	款	項	目	実施計画事業★	事務事業名	事業の目的	H26 事業概要	H26 事業実績	H26決算 見込額	活動指標名 (業務量の指標)	単位	H26 目標	H26 実績	H27 目標	事業の 進捗	必要性	有効性	効率性	優先性	総合判定	判定理由	事業の 方向性
44	企画部	市民協働課	02	01	12	★	自治会活動支援事業	自治意識の高揚とコミュニティの推進を図る	<ul style="list-style-type: none"> 自治会活動助成事業 ○市内自治会組織の自主的な運営を促進し地域活動の活性化を図る。 ○自治会連合会助成金 ○自治会連合会の円滑な運営と自治会相互の協調及び研修等の充実を図る。 ○公会堂等建設助成事業 ○自治会活動の充実を図るため、公会堂等の建設、修繕や備品の購入に対し補助金を交付する。 	自治会運営の補助 自治会連合会運営の補助 公会堂建設費等の補助	68,569	自治会加入率	%	77	77	78	A	A	B	B	A	B	市が継続して実施する必要があるため。	継続
46	企画部	企画政策課	02	01	14		豊田佐吉翁顕彰祭開催事業	毎年豊田佐吉翁の命日に顕彰することで、永遠にその偉業を称え、また、少年少女発明クラブの優秀者を表彰し、発明やもの作りへの関心や意欲を育てる	郷土の生んだ偉人、豊田佐吉翁の不滅の栄誉とその遺徳を称えるために、命日に式典を行う。 また、同時に湖西少年少女発明クラブの作品展と絵画展の優秀者への表彰も同時に行っている。	①豊田佐吉翁顕彰祭の開催 (昭和39年から実施) 開催日 平成26年10月30日(木) 鷺津中学校 豊田佐吉翁胸像前にて実施 参加者 145人	398	豊田佐吉翁顕彰祭参加人数	人	150	145	150	A	A	A	A	A	A	式典開催において、準備段階から滞りなく実施することができた。	継続
49	企画部	市民協働課	02	01	17	★	男女共同参画推進事業	男女がお互いの違いを認め合いながら共に参画し、自らの能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現	「女と男プランこさい」に基づく各施策の推進 男女共同参画推進市民懇話会の開催 湖新楽(こあら)交流会の活動支援 女性相談の開催	講演会2回、職員研修1回開催 市民懇話会:2回開催(条例案について検討) 湖新楽交流会:パブルリボン啓発活動、講演会1回、地域セミナー4回開催、読み聞かせ4回 女性相談:4月～3月(月4回)開催	1,424	湖新楽交流会参加団体・個人	団体 人	17	19	20	B	A	B	B	A	B	湖新楽交流会座談会における地域住民との意見交換などにより、徐々に「男女共同参画」の認識が広がっているが、まだ十分ではないため。	継続
51	企画部	市民協働課	02	01	17		文化の香るこだわり事業	市民活動の活発化、自立化を促すため、公募して市民活動を補助し、市民によるまちづくり活動を推し進める。	①文化的活動事業を補助し、文化の香る豊かなまちづくりを応援する。 ②協働まちづくり事業を補助し、協働によるまちづくりを応援する。	文化の香るこだわり事業補助金 ①協働まちづくり事業 5事業へ交付 文化の香るまちづくり事業補助金 ①まちづくりスタート事業 1事業へ交付	1,799	文化の香るまちづくり事業への補助件数	団体	6	6	10	A	A	A	B	B	新しい補助制度について、多くの市民活動団体や設立間もない市民活動団体への周知が不足しているため。	継続	
62	新居支所	新居支所	02	01	19		新居地域関係団体育成事業 (H27～事業名称変更) 新居地域協働まちづくり事業	まちづくりのための自主的な地域活動への支援を行い、地域の活性化に資する。	新居地域で独自に活動する団体が実施する事業を補助するため、次の業務を行う。 ①自治会連絡調整、自主防災会連絡調整 ②小松楼まちづくり交流館施設管理 ③浜名川美化業務委託	①自治会重要案件に関する相談、自主防災会実施行事への資機材及び人的支援を実施した。 ②施設管理を行った。(指定管理者:新居まちネット) 小松楼まちづくり交流館入館者14,143人 ③浜名川クリーン作戦を実施した。(委託先:浜名川をきれいにする会) 草木等処理量17.59t	4,498	小松楼まちづくり交流館年間延べ入館者数	人	16,000	14,143	16,000	C	A	B	C	B	B	それぞれ所管する部署が存在するので、関係性を明らかにする必要がある。	改善(その他)
579	教育委員会事務局	社会教育課	10	06	04	★	成人式開催事業	新たな成人を祝い、成人としての自覚を高める。	新たな成人を祝い、成人式を開催する。	二部構成で実施した。(一部式典、二部アトラクション) 496人参加	1,550	参加率	%	80	83.5	80	A	A	A	A	A	A	新たな成人を祝い、成人としての自覚を高めるためには必要。	継続